

2023 壱岐市長杯・壱岐レース帆走指示書

1. 競技規則

本レースの適用規則は下記のとおりとする。

- A. 帆走指示書
- B. 海上衝突予防法およびセーリング競技規則（2021－2024）

2. 責任の所在

艇と乗組員の安全の確保は艇長の避けられない責任であり、博多ヨットクラブは一切の責任を負わない。レースの続行/棄権の決定責任は各艇長にある。

艇長は艇が十分に艤装され、かつ必要な耐候性を保ち、荒天の海でも耐えうるクルーを乗り組ませ、艇と乗組員の安全のために全力を尽くさねばならない。

3. スケジュール

9月17日（日）09：00 レーススタート（予定）

※艇長会議は行わず、2023 壱岐市長杯・壱岐レース帆走指示書をもって代える。

4. レースコース

小戸ヨットハーバー沖から壱岐筒城浜七湊港に至る海面。通過地点は自由。

5. スタートライン

博多湾内に設置する本部船とリミットマークブイを結ぶ線をスタートラインとする。
（別添位置図を参照）

6. 本部船

スタート本部船（博多湾）	小戸ハーバーレスキュー艇	TEL
フィニッシュ本部船（壱岐）	ZEPHYRUS	TEL (使用艇はカタリナ30)

7. レース旗

レースに参加する艇は、艇のスターン部に博多ヨットクラブのバージ（旗）を掲げる。

HYC会員外の艇にあっては、種別・大きさは問わないので目印となるフラッグを掲げる。

8. スタート

- A. スタート本部船とリミットマークブイを結んだ見通し線をスタートラインとし、スタート本部船を右舷に見てスタートしなければならない。
- B. フリーのスタートであってもウェザーマークは設置しない。
- C. スタート5分前にHYC旗を掲げ、長音一声を発する。
- D. スタート4分前にP旗を掲げ、長音一声を発する。
- E. スタート1分間にP旗のみを降下し、長音一声を発する。
- F. スタート時刻丁度にHYC旗を降下し、長音一声を発する。

9. リコール

- A. リコール艇があった場合はX旗を掲げ、長音一声を発する。
- B. 復帰は当該艇の責任である。
- C. リコールを解消せずにフィニッシュした艇は、所要時間の20%をペナルティーとして加算する。

10. ゼネラルリコール

- A. ゼネラルリコールの場合は第1代表旗を掲げ、長音二声を発する。
- B. ゼネラルリコール後の再スタートは、ゼネラルリコールとなった時刻の10分後とする。

11. フィニッシュ

フィニッシュラインは、博多ヨットクラブ旗と青色旗を掲げた本部船と、七湊港入口の防波堤突端の街灯柱を結ぶラインとする。（別添位置図を参照）

12. タイムリミット（レース終了時刻）

タイムリミット（レース終了時刻）は、9月17日（日）午後5時とする。
スタートが遅れた場合でもタイムリミットの延長はしない。

13. 修正順位

修正順位は、博多ヨットクラブが定めたTCFによる修正時間の少ないものを上位とし、同時間の場合はTCFの小さい艇を上位とする。

14. 抗議

- A. 原則として抗議は受け付けない。普段レースに参加しないクルージング艇が参加することもあるため、みだりにルール上の権利を行使しないことを要望する。
- B. 衝突は絶対に避けなければならない。
- C. 他艇と衝突した艇は、理由の如何を問わずすべて失格とする。

15. 出艇申告

出艇申告はレース参加申込書をもって代える。9月10日（日）の申込期限までに提出すること。

16. リタイヤ

何らかの理由でリタイヤした艇は、リタイヤ後速やかにフィニッシュ本部船に報告しなければならない。

報告なき場合は事故とみなし、海上保安部に報告し救助を要請する場合がある。

17. エンジンの使用

バッテリーの充電目的に限って、レース中において一時的にエンジンの使用を認める。ただしこの場合、推進力を発生しないようにギヤは必ずニュートラル位置に固定しておくこと。
また、スタート4分前からスタートするまではエンジンの使用は禁ずる。

☆ フィニッシュ後、島に入港する際は港での係留やごみ処理に注意!!
（ごみは持ち帰りましょう）

スタート地点(小戸沖)



フィニッシュ地点(壱岐・筒城浜沖)

